

ひらつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 7 NO 8 1982. 9. 1

平塚市博物館 TNO 77

教育普及活動の紹介 ⑧

サマーセミナー

8月23日から25日まで、3日間、恒例のサマーセミナーが「伊勢原青年の家」で開かれました。

参加者は、小・中学生合わせて37名。博物館からは、前場副館長をはじめ、浜口、森、小川、鷹、澤村の各学芸員と5名のボランティアが出席しました。

それぞれ担当の学芸員（生物、地質、民俗、天文）を中心に、大山の自然観察、地層観察、民俗探訪、天体観測などを行い、キャンドルファイアなども混え、本当に充実した、楽しいセミナーでした。

以下は、当日参加した人たちの感想文です。

◇私は食事係をしました。係の仕事で一番楽しかったことは、食事の後の食器洗いでした。友ちゃん（大友さん）、小野さんとみそやさん（八尾さん）と洗ったり、洗剤を洗い流したり、25日は、私はかいだんのそうじなのに、すいじ場のそうじをやっていました。

大山へ行った帰りシカを見て、おじいちゃんといっしょに来たことを思い出して、少しうまが出来ました。それはもうおじいちゃんが死んじゃったからです。

夜ねる時、まくらの投げっこをしようとしました。でも、新井さんがまくらカバーをしたら、中味が出てきたのでやめました。

川の水がとても冷たかった。川の水を水とうに入れて、お父さん達にあげたら、「おいしい」と言ってました。（中原小 5年 高橋清美）

※4ページへつづく





9月の行事

1	水
2	木
3	金
4	土 ブラネタリウム 古文書講読会 土曜観察会「高麗山・湘南平の自然」
5	日 ブラネタリウム 自然観察会「宮ヶ瀬の自然」
6	月 (休館日)
7	火
8	水
9	木 デッサン教室
10	金 デッサン教室
11	土 ブラネタリウム
12	日 ブラネタリウム
13	月 (休館日)
14	火
15	水 (敬老の日・休館日)
16	木
17	金
18	土 ブラネタリウム 古文書講読会
19	日 ブラネタリウム 地層観察会「大磯層の化石」 体験学習会「竹のおもちゃ」
20	月 (休館日)
21	火
22	水
23	木 (秋分の日・休館日)
24	金
25	土 ブラネタリウム 土曜観察会「高麗山・湘南平の自然」
26	日 ブラネタリウム
27	月 (休館日)
28	火 星を見る会「月を見よう」
29	水
30	木 月末休館日

◇ブラネタリウムは、「アンドロメダ大星雲」をテーマに投影します。

9, 10月の行事

あなたも参加してみませんか

●星を見る会 「月を見よう」

中秋の名月直前の月を見ます。

日時 9月28日(火) 18~20時

集合場所 博物館・科学教室

参加は自由です。当日、時間まで博物館へおこし下さい。なお、雨天、曇天でも会は行います。

●ブラネタリウム

9月、10月のブラネタリウムの投影は、次のとおりです。

○一般投影

土曜日 (1回目) 13時40分~

(2回目) 15時~

日曜日 (1回目) 10時30分~

(2回目) 13時30分~

○団体投影

火曜日 (小学校のみ)

水曜日

木曜日

投影は1日2回。時間は相談に応じます。

●秋期特別展 「名墨展」

茶の湯など風流の面に特色ある寺として有名な大徳寺の高僧の墨跡を集め展示いたします。

期間 10月12日(火)~10月24日(日)

場所 博物館・特別展示室 (入場無料)

作品 名墨約40点余り

●体験学習会「紙をすこう」

手すき和紙の技術を学びながら、実際に和紙をすいてみます。

日時 10月24日(日) 10~15時

場所 博物館・科学教室

参加費 500円

申し込み 往復ハガキで、10月10日までに、博物館までお申し込み下さい。申込み多数の場合は、抽選で20名まで。

●寄贈品コーナー展示替えのお知らせ

二見利節氏遺作7点の紹介をいたします。

期間 10月1日(金)~10月30日(土)

フィールドノートより

②

霧の大山山頂

8月18日(水) はれ

午前10時、日向薬師を出発、大山への道を歩き始める。5日後にひかえたサマーセミナーで、今年は大山登山を行うことになっている。今日はその下見行である。

伊勢原青年の家のまわりで、観察の素材探しをする。ここには昨年も来たが、その時見つけた、サクラの幹に群生するナシカムシ、竹筒にコケをつめたアルマンアナバチの巣、階段の下のアリジゴクの巣などが健在なのも確かめる。

青年の家の奥の林道には、匂いを持つ植物が多い。クサギ、コクサギ、マツカゼソウ、アブラチャン、ヘクソカズラなど、それぞれ個性的な香りを持った種類が、まとまって生えているので、五感を使った観察の材料にする。ファンタグレープによく似た匂いのするクズの花も見つけておこう。

林道から沢に降り、靴を脱いで足を水に浸してみる。心地よい冷めたさ。その水で顔を洗う気持のよさ、こうしたことでも体験させてやりたいと思う。水中では、もう一つ水生昆虫にも目を向けておきたい。2、3個手頃な石をうら返してみると、数は少ないながらカゲロウやカワゲラの幼虫、それにプラナリアが見つかった。

自然観察会の下見では、こうやって"どこで何を観察できるか"ということをできるだけ多く見つけ、それを取捨選択して当日の計画をたて、リーフレットなどの準備をするわけである。

11時20分、九十九曲りの道を見晴台へ登り始める。このあたりはスギとヒノキの植林が続いているが、人間生活との関わりで言えば、スギと



ヒノキはぜひ覚えて帰ってほしい木である。また自然のしくみという点から言えば人工林は林のつくりが単純なので、自然林を見る練習をするのによい場所と言える。山に登りながらなので、あまり細かい観察はできないが、暗いヒノキの林には下草が少ないくらいは見て行けるだろう。

見晴台の下の尾根に1か所水たまりがあり、その付近の湿った泥の上にシカの足跡が印されていた。糞もないかと付近をしばらく探してみたが、糞は見つけることはできなかつた。直接、見るチャンスの少ないものでは、その生活の痕跡に気をつけるのが大切な観察のポイントになる。



12時30分、見晴台着。ツバメが数羽、空を飛びかっている。モミ林の方から1羽のハイタカが現われ、ツバメに追われるよう北斜面へ消えていった。

見晴台からの道は、しばらくモミの原生林の中を登っていく。季節は、はや秋に近くキバナアキギリやセキヤノアキショウジがちらほら花をつけている。立ち枯れたモミの幹には、キツツキの古い巣穴が見られ、登山道わきの枯木でも、餌をとるためにキツツキがつづいた跡が何か所も発見できた。

不動尾の分岐をすぎると、道はゆるやかになる。このあたりのリョウブは皮をはがれたものが多く、どうやらその犯人はツキノワグマであるらしい。

ふもとでは晴れていたのに、このあたりまで登ると、いつの間にか霧に包まれていた。ブナの梢が霧にかすんでいる。

14時、大山山頂着。1か月ぶりの山頂だったが、びっくりしたのはジュースの自動販売機が備えつけられたことだった。東電のバラボラアンテナから電気を引いたものらしい。今でもひどいごみの山であるのに、それに拍車がかかるだろうと、暗たんなる気持になる。今度一緒に登ってくる子供達は、どんな眼でごみや自動販売機を見てくれるだろう? そんなことをしきりに考えた、霧の山頂だった。



天文コーナー

仲秋の名月



今年の仲秋の名月は10月1日です。

旧暦の8月15日に出る月を名月と呼びますが、満月でない年が多いようです。

今年の月も満月2日前、月齢14とちょっと欠けた感じのする名月です。

この仲秋の名月を観賞する習慣は、中国古来のもので、平安時代の頃に日本に伝來したようです。仲秋(中秋)とは、旧暦の7月、8月、9月を秋と考え、その中の月なので仲秋といいます。

月の出は平均すると1日に50分くらいずつ遅れます。この時期は、表のように、1日30分くらいしか遅れません。したがって、毎晩同じ頃

月の出の時刻

月/日	9/30	10/1	10/2	10/3
時 刻	16:17	16:50	17:21	17:52

に出るまるい月に人々が注目したのだろうとも考えられます。

この時期には芋がとれるので「芋名月」ともいい、西洋では収穫期の満月にあたるところから、Harvest Moonといいます。

毎年の仲秋の名月がいつ頃起るかを、簡単に知る方法としては、秋分の日にいちばん近い満月の日を調べることです。だいたいその日です。

— * —

受入寄贈資料（敬称略）

- 7. 3 石製カマド、手カギ、魚箱など 市内
千石河岸 18-1 舛尾和敏
- 3 ハカリ 市内公所 418-2 高山光
史
- 3 オヒツ、コタツなど 市内立野町 18
-23 伊藤 弘
- 7 マブシ織り機 市内大神 2546 青
木浩一
- 15 ヒノシ、拍子木、提灯など 市内平塚
2121 平田寿美栄

■ 教育普及活動の紹介 ■

※1ページよりつづく

今年の夏の一暮の思い出。

「サマーセミナー」これに参加して色々なことを体験し教わった。

初めて川の水を飲んでとてもおいしかった。は、きっと見える星で作られた天の川、山のかけた隠れていく星と流れ星。

石の下にくついている小さな水生昆虫、自然観察をしながら苦しかった。

大山登山も、あ、という間に過ぎた。

2宿3日のほくの楽しい思い出。

2宿3日、じつに過ごした仲間も忘れられない。

できれば来年も参加させていただきた
いと願っています。（二宮西中 1年

黒石晴信）

始めは、自分で参加するのが不安だったが、兎に角行って見たらとっても楽しかった。

大山登山はとてもきつくて大変でした。なんにも水があまり飲めなかつてしま
けいが少なかったから。

山頂に着いたら弓はらべとんど

での外で見た天の川、カケロウ
のムカシ、キャンドルスティア夜のまくら
ました。

私の感想
来年も行きたいです。



（みずほ小 5年

山口明日香）

22 マブリ 市内上吉沢 1178 久永ソ
デ

27 大神宮祠 市内下吉沢 820 細野文
雄

御協力を深く感謝いたします。

はくぶつかん

VOL. 7 №6 通巻77号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 ○3500

発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町 12-41 TEL 33-5111